

J·Hair News

Vol.37



写真：小笠原諸島（世界遺産）

P2~5 J・Hair's EYE
P6~7 J・Hair's Works
P8 事務局だより

日本毛髮工業協同組合

平成28年7月1日発行 J.Hair News(第36号) 日本毛髪工業協同組合 URL <http://nmk.or.jp>
編集・発行 日本毛髪工業協同組合事務局 東京都渋谷区代々木2-10-9 Tel.03-5304-5130 Fax.03-5371-9345 印刷・製本

J·Hair News



プログラムでは、毎回最後にウイッグの試着を行いますが、グルーブで試着をしていると、「似合わないわ」と不安になる患者さんに、別の患者さんが「大丈夫よ、よく似合っているわよ」などと声をかけています。また、個別相談にお誘いしたり、関連部門へ連携したりするようにしています。

センターでは、個別相談だけではなく、脱毛や肌、爪への影響と対処方法をレクチャーするグループプログラムも週に2回行っています。看護師や心理士が担当しているのですが、「楽しく」「明るい」雰囲気での実施を心がけており、笑いの多い会となっています。これは、外見の変化を「深刻で」「悲劇的」な「対処困難」な問題ではなく、自分でコントロールできる「対処可能な」問題と捉えてもらうようにするため、私たちが行っている仕掛けの一つです。意外に思われるかもしませんが、涙する人がいたとしても基本的にその雰囲気を変えることはありません。ほとんどの場合、涙した人も周りの雰囲気の中で自分の気持ちを整理し、またプログラムに気持ちを戻してくれます。どうしても気持ちの整理がつかない方の場合には、外見の変化は感情が揺さぶられるきっかけに過ぎず、別の問題や気がかりを抱えていることが多いで、個別相談にお誘いしたり、関連部門へ連携したりするようにしています。

3. 患者さんに説明する ウイッグ選びのポイント

センターには、ウイッグの選び方にについての質問が頻繁に寄せられます。これに対し、私たちは「自分にあった価格・かぶり心地・スタイル」の3つの要素から製品を検討することを推奨しており、中でも最も大切な要素としてスタイルを挙げています。

① スタイル

いかに高価で上質、あるいは「自然」であつたとしても、似合うと思えないウイッグは、使用しなくなります。多くの患者さんは、初めは脱毛直前と同じスタイルを選ぼうとしますが、私はそれを勧

J·Hair's EYE



がん患者の外見ケア ～医療者側からウイッグについて考えること～

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター
臨床心理士 藤間勝子

がん治療の副作用には様々な症状がありますが、特に外見に関わる症状としてよく知られています。頭髪の脱毛です。頭髪の脱毛は化学療法や頭頸部の放射線治療に伴いますが、使われる薬剤や放射線の量によって異なり、全てのがん患者さんと同じように起こるわけではありません。

2009年に国立がん研究センター中央病院が化学療法中の患者さんに行った調査によると、乳がんの患者さんでは96%が脱毛を報告しているに対し、肝臓がんの患者さんでは39%しか脱毛の報告がありませんでした。また、脱毛の仕方も治療により様々で、短期間に全ての頭髪が抜けてしまうような劇的な変化もあれば、薬が続いている間パラパラ抜け薄毛が続くという場合もあります。最近では、脱毛ではなく縮毛化や脱色などの副作用を起こす薬剤も使用されるようになってきました。

以前は、命を助ける治療が最優先され、脱毛のような外見に起る副作用はあまり重要視されませんでした。しかし最近は、ロングサバイバーが増加したことや、仕事や通学をしながら通勤も治療により外見が変化した患者さんを支援するため、国立がん研究センター中央病院では2013年にアピアランス支援センターを設立しました。アピアランスとは「外見」を意味する言葉です。センターでは、医師・薬剤師・看護師・臨床心理士・美容専門職といった多職種が連携し、患者さんをサポートしています。中央病院1階に設置されたセンター内には、約60個のウイッグの他、帽子やつけ毛、スキンケアやメイクアップ、ネイルケア、マニキュアなどの美容関連製品に加え、人工乳房や義足、欠損した部分をカバーするエピテーゼなどが展示されており、患者さんは自由に製品を試したり、相談したりできるようになっています。

院治療する患者さんが増えたことから、周囲から見えてきています。先に述べた調査によると、抗がん剤治療の副作用による苦痛度ランキングTOP20の中に外見変化に関わる症状が、男性で10項目、女性で11項目含まれており、特に頭髪の脱毛は女性の場合第1位となっています。

2. 国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センターの活動

治療により外見が変化した患者さんを支援するため、国立がん研究センター中央病院では2013年にアピアランス支援センターを設立しました。アピアランスとは「外見」を意味する言葉です。センターでは、医師・薬剤師・看護師・臨床心理士・美容専門職といった多職種が連携し、患者さんをサポートしています。中央病院1階に設置されたセンター内には、約60個のウイッグの他、帽子やつけ毛、スキンケアやメイクアップ、ネイルケア、マニキュアなどの美容関連製品に加え、人工乳房や義足、欠損した部分をカバーするエピテーゼなどが展示されており、患者さんは自由に製品を試したり、相談したりできるようになっています。

センターには、ウイッグの選び方にについての質問が頻繁に寄せられます。これに対し、私たちは「自分にあった価格・かぶり心地・スタイル」の3つの要素から製品を検討することを推奨しており、中でも最も大切な要素としてスタイルを挙げています。

いかに高価で上質、あるいは「自然」であつたとしても、似合うと思えないウイッグは、使用しなくなります。多くの患者さんは、初めは脱毛直前と同じスタイルを選ぼうとしますが、私はそれを勧

5. がんの患者さんに接する際に

がん治療に伴う脱毛は円形脱毛症などとは異



重要なことは「髪」というパーソンが自然であることです。よりも、その人が気にいったウイッグをかぶることで、振る舞いが自分らしく自然になることがあります。そのためには脱毛にちゃんと対処しているという実感や、外見の変化を自分でコントロールできているという感覚を持つことが大切です。実際、そのような感覚を持った人の方が、心理的 well-being が高いと指摘する研究もあります。

でと同じ姿を装わなければ、今まで通りの人間関係を保てない」というメッセージを逆説的に発し、患者さんを脅かすことにもなります。

じや分け目が自然・風合いが自然・人毛で自然など)を強く主張する」とは、「ウイッグは自然なものではないから、できるだけ自然に見えるものを選ばなければならぬ」というメッセージを発することでもあり、そのこと自体が「ウイッグを装着していぬ」と(=がんである)は今までのあなたと違ひ、「ウイッグを装着していく」と(=がんである)は隠さねばならぬ」「がんでも今まで

話着して選ふことを奨めていきます
スタイルから

○アトリエ

る髪型があることを示唆するようにしています
そして、できるだけ様々な髪型を試していただくな
ようにし、「治療によって髪型を変えなければなら
らない」とへの抵抗として「もとと同じ髪型にな
だわる」とから、「自分の意思で髪型を変えた
という思いを持つてむらう」とで、ウイッグを選
択する範囲を広げ、より自由にスタイルを選べる
ようになっていただいている。

「イル」とは、単に髪型だけではなく、後述する「自然なウイッグ」と同様の別の意味を含んでいると考えているからです。加えて、その「同じ」の中には色・艶・毛量・ハリやコシ、弾力、滑らかさ、手触りなども含まれているため、自毛と全く同じものを選ぶのは難しく、同じものを選ぼうとすればするほど、微細な違いが気になってしまふ結果になりますがちです。ですから、時には患者さんに「今の髪型が人生で一番似合っています?」とあえて尋ねて今と同じ髪型でなくとも、自分らしく自信が持てる

4. 患者さんの求める「自然な ウイッグの意味を考える

「ウイッグの相談の際には「自然なウイッグって
どうですか?」「つむじが自然なのがいいんですよ
ね」などと問われることがよくあります。ウイッグ
を取り扱う会社の方々は、普段の接客の中であま
りにも当たり前になつていて、不思議に思わない
かもしませんが、今一度患者さんがなぜ自然な
ウイッグを求めるのか?を考えることも大切

なり、原因がはつきりしており、且つ、基本的に再発毛が見込める事と、期間も予測できることから適切な情報提供を行うことで比較的落ち着いて対処できる方が多いように感じています。ただしがんの告知を受けたばかりの方や予想外の治療で戸惑われている方の場合は、がんという病へ否定や拒否、混乱が、脱毛やウイッグ選択の場に形成を変えて現れる事も多く、感情のコントロールが難しい方もいます。また、病に関わる他の気がかり（例えば、家族との関係や仕事のことなど）ががんを象徴する脱毛やウイッグの問題に形を変えて表出されることもあります。

こうした場合の患者さんへの対応に万能な対応方法はなく、相手の言葉に耳を傾け、その人が何を求めているのかを丁寧に考えるしかない。うに思います。とはいえ、皆さんは患者さんの問題の全てを引き受ける必要はありません。あくまでウイッグのプロとして髪の問題について応じることが大切です。そして応じる際には、相手に伝わる言葉や表現を選ぶようにして下さ。

また、自身や家族にがんの経験があつたとして
思います。同じような体験でも治療や状況が違う
も、それを話す時にはよく考えていただきたいと

「いいえ、患者さんの求める「以前と同じスタイル」

③ 両各
においているのに装着感が感じられないというのであれば、インナー・キヤップの使い方などかぶり方の工夫と一緒に考えるようにしています。

だと思います

私たちが以前に行つた研究によると、治療による脱毛は、①自分の姿が変わってしまうことによる「自分への違和感」や「自己像のゆらぎ」だけでなく、②脱毛することで、周りの人たちと今まで通りの関係性へ戻る、つまりは「自分へ戻る」といふ

通りの関係でいられなくなるのではないか?といふ不安ももたらすことがわかっています。②は、脱毛を周囲に知られることで、自分ががんだとわかつてしまい、「この人はがんになつた可哀想な人

だ」「もうすぐ死んでしまう人だ」「先々あてになりない」などと思われ、今までの対等な人間関係ではなくなるのではないかとの心配です。

がんの患者さんがウイッグで隠したいと思って
いるのは、単純に脱毛した頭ではなく、この脱毛
に象徴される病気や死、あるいはそれがもたらす

変化である」とがポイントになります。患者さんが「自然な髪」を求める時には、単に髪型や髪質の問題ではなく、がんや死を感じない自分らしい姿であり、また、周りの人との対等な関係が維持できる自分であることつまり病気になる前の自分と同じようでありたいという思いがあります。

品機能として「自然さ」(例えば、地肌が自然、つむ

ことはよくありますし、治療方法の変化は早く以前とは全く異なることが多いのです。置かれている状況やパーソナリティの違いから、同じ体験をしていても「同じ気持ちではない」ととも多々あります。お互いが傷つかないためにも、この点は留意しておきたいと思います。

がんの患者さんを支える上で、ウイッグは大切なツールです。不安を抱える患者さんへの対応は困難が多いかと思いますが、患者さんが治療を継続しながらも、社会の中で自分らしく充実した生活を送るために、皆さんのがん活動があることを感謝しつつ、今後とも皆さんと協力しながら、患者さんを支えていきたいと思っています。

A stylized illustration of a woman's face in profile, facing left. She has long, wavy, light brown hair with darker brown highlights. Her eyes are closed, and she has a gentle smile. The background is plain white.

平成28年5月13日(金)午後3時30分より「日本毛髪工業協同組合」の第46回通常総会及び定例理事会が「京王プラザホテル本館「アンサンブルの間」で開催されました。

定刻になると五十嵐祥剛理事長が議長となり、議事の進行を務めました。議長の開会宣言の後、議長より総会出席組合員数が充足しており本総会が適正に成立する旨報告されました。議事録署名人を選任し、総会に提議された議案5案の審議が行われ、全て承認され午後4時30分に閉会となりました。

議案は、第1号議案「新任理事選任決議の件」・第2号議案「2015年度事業報告及び決算報告承認の件」・第3号議案「2016年度事業計画(案)と予算の件」・第4号議案「定款改定の件」・第5号議案「剰余金処分の件」が審議され質疑応答を経て全ての議案が承認可決となりました。なお第1号議案の可決により株式会社ユキの佐藤文彦代表取締役社長が新任理事に就任されました。また、総会終了後に定例理事会を開催し、第1号議案「加盟店証価格改定の件」・第2号議案「進捗委員会に関する覚書の改定及び更新の件」について審議が行われ満場一致で承認可決となりました。

その後、事務局より新たに加入した特別会員が紹介され承認されました。続いて事務局相談員(消費生活アドバイザー)の川西則子氏より、2015年度



の国民生活センター(PIO-NET)及び組合への消費者相談についての集計結果とその傾向の説明と報告が行われました。そして、「議長が以上で全ての議案の審議及び報告事項が終了したこと」を宣し午後4時55分に閉会となりました。

理事会終了後、懇親会が開催され来賓として当協同組合を所管していただいている経済産業省日用品室室長補佐佐藤純氏のご臨席を賜りました。はじめに、五十嵐祥剛理事長より前年度の成果及び本期の取り組みの決意を含めて挨拶がありました。続いて加藤室長補佐よりご挨拶をいただき、「昨年、医療用ウイッグのJ-規格が認証されたことは皆様の努力の賜物であり非常に喜ばしいことです。今後も、消費者により安全安心を与えるような品質の商品提供に従事していただきたいと思います。」とのお言葉をいただきました。そして、根本信夫理事より乾杯のご発声をいただき参加者全員で懇親を深める歓談のひと時を和やかに過ごしました。しばらくの歓談の後に、岩下道治顧問が「皆様のご健勝と業界のますますの健全な発展を祈念いたします。」と締めくくり、全員で今後の更なる健全な飛躍を誓い閉会いたしました。

「お客様からいただいた嬉しいことば」

株式会社ユキ 営業本部 谷口佑介

店頭でウイッグのお手入れをしていたある日、そのお客様はご来店されました。深く帽子をかぶり、人目を気にしながら気まずそうにお店に入つてこられた姿を今でもはつきりと覚えています。

「全体ウイッグが欲しいんだけど…」

痩せ細った身体から発せられたその細い声からは、ウイッグについて入念に調べてこられたんだなということが、しつかりと伝わってきました。

「かしこまりました。是非、色々着け比べてみてください。」

そうお伝えし、お席へご案内しました。予想していた通り、お帽子を取りられると治療により髪の毛は抜けきつていきました。

私が持ってきた商品を着けられ、鏡を見た瞬間のことでした。

「いいわね。」

たった一言しかおっしゃいませんでしたが、先程の声よりも力強く、そしてわずかに表情が緩んだのを私は見逃しませんでした。

「軽いわね。」

重かった元も、嘘のように軽くなりました。

「実はね、身体はもう大丈夫なのよ。」

この言葉を聞き、女性にとって髪がいかに大切かということを改めて感じました。

「今日は勇気を出してよかつたわ。あなたのおかげで忘れない一日になつたわよ、本当にありがとうございました。」

シンプルなこの言葉からは、計り知れないほど想いがひしひしと伝わってきました。

笑顔でお店を出ていく姿は、入ってきた時のそれとはもう別人でした。



事務局だより

新規加入特別会員のご紹介

■ 株式会社 インター・サクセス 代表取締役 陶一智

東京都八王子市八木町3-15-701

弊社はお客様が、より快適、より自然、より自分らしい美しさを表現できる製品造りをモットーとしています。

これからもお客様にたくさんの「元気と幸せ」をお届けできるような商品とサービスを提供していきます。

■ 株式会社 ミリオンバンブー 代表取締役 森隆路

岐阜市芥見南山3-3-1

この度は日本毛髪工業協同組合に入会させて頂き誠にありがとうございます。(株)ミリオンバンブーの森隆路と申します。

弊社は平成20年創業。ウイッグを使われるお客様の事を考え、少しでもお役に立てるよう心がけて努めています。組合員として規則を守り、業界の発展の為努力致します。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

■ 株式会社 クラッセ 代表取締役 本後博康

兵庫県明石市材木町4-20

ウイッグという商材でお客様の生活が少しでも豊かになるように、微力ながら社会に貢献していくことを願い申上げます。

◎ 募集テーマ一 お客様からいただいた嬉しいことば

「あの時のお客様のあの言葉があつたから今の自分がいる」と思える経験、心がじわっと温くなるエピソードをご披露ください。文字数は800字以内。

○ 募集テーマ二
ご当地ネタ
文字数は400~600字程度。文章を補足する写真やイラストなど視覚情報があれば歓迎いたします。

原稿募集

J·Hair's worksへの原稿を募集しています。掲載文には薄謝(クオカード3000円相当)を進呈します。

○ 募集テーマ一
お客様からいただいた嬉しいことば

「あの時のお客様のあの言葉があつたから今の自分がいる」と思える経験、心がじわっと温くなるエピソードをご披露ください。文字数は800字以内。

○ 募集テーマ二
ご当地ネタ
文字数は400~600字程度。文章を補足する写真やイラストなど視覚情報があれば歓迎いたします。



新理事 佐藤文彦氏



挨拶 五十嵐理事長



経済産業省日用品室 加藤室長補佐

日本毛髪工業協同組合第46回通常総会及び定例理事会開催